

## ご利用にあたっての注意事項

### 0. 倫理性の保持および安全性の確保について

- 人及び生物由来試料等を対象とする実験を実施する際には、研究対象者（物）及び研究実施内容を倫理的な問題から保護する必要があります。都産技研も、この倫理性の保持を重視しており、都産技研の機器を利用されるお客様にも同様の対応をお願いしております。
- 倫理性の保持については、例えば研究対象者（物）に対するインフォームドコンセントの手続きや、個人情報等の保護や、動物実験代替試験法（3R）の検討といったものが考えられます。依頼試験および機器のご利用については、これら倫理的な責任の解決主体がお客様にあることをご承諾頂いた上で実施するものとします。
- 倫理性の保持の具体的な手法などについては、一般社団法人日本人間工学会が発行する「人間工学研究のための倫理指針」、関係する省庁が発行する「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「カルタヘナ法関係法令」、「医学系研究指針」などの文書をご参照下さい。
- 上記倫理性の保持及び安全性の確保についてはお客様の責任において実施するものとし、下記の各項目への同意をヘルスケア産業支援室のご利用の条件とさせていただきます。

### 1. 共通項目

- 【依頼試験の流れ（別添1）】、【機器利用の流れ（別添2）】を守って安全にご利用ください。他のお客様や職員への迷惑行為は禁止といたします。
- 都産技研の責めに帰すべき事由により生じたことが明らかな場合を除き、お客様及び第三者のけが等の事故及び損失については、都産技研は一切責任を負わないものとします【機器利用約款 第20条】。
- 実験室内には複数のお客様が同時にご利用されます。ご利用中のデータやサンプル、手荷物等の管理は各自の責任で管理願います。
- 各機器のご使用に当たっては、担当職員の指示に従い、使用方法を守ってご使用下さい。ルールを逸脱して備品や消耗品を破損した場合、損害賠償請求させて頂くことがありますのでご了承下さい。
- 実験室内の装置・備品の都産技研外部への一切の持ち出しは禁止とします。  
(次葉へ続く)

- 実験スペースでの飲食・喫煙はご遠慮ください。
- 支援室の使用中に体調不良の訴えがある場合、お客様の責任で医療機関などの受診をお願いしております（弊所では医療機関との提携はありません。）。
- 当支援室で得られた試験結果について、当センターの名称を広告、印刷物、電子文書等に無断で使用することはお断りしています。使用したい場合は名義使用申請を行ってください。
- 利用にあたって発生したゴミ等はお持ち帰りください。
- 機器に異常が発生した場合には、直ちに職員までお申し出ください。
- ご利用後は機器を清掃、使用前の状態に戻していただき、職員までご連絡ください。

## 2. サンプルについて

- 実験中ならびに輸送時の試験体（品）の変質、破損等に関して、弊所では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 実験で使用するサンプルは、実施する実験に関わる倫理性保持の重要性を理解し、お持ち込みください。
- 生体および生体由来サンプル（動物細胞組織原料等及び細菌、真菌、ウイルスなど）については、安全性が担保されていないもの、感染性・病原性のもの、体液（血液、唾液、粘液等）の測定をお断りします。
- 状態によっては、弊所指定の方法による不活性化処理や化学固定処理をお願いする場合があります。
- 支援室内でのヒトや動物からの生体組織の採取は固く禁じます。
- 使用後のサンプル等につきましては、原則、当日のお持ち帰りをお願いしております。
- サンプルの実験室内外への持ち込みおよび持ち出しにあたっては、漏洩防止にご配慮ください。
- 生きた動物（動物組織は除く）の支援室への持ち込みは禁止します。

## 3. ヒトを使った実験について

- 実施する実験に関わる倫理性保持の重要性を理解し、研究対象者に対するインフォームドコンセントや人権保護、個人情報の保護など各種倫理的な問題を解決した上で機器を利用してください。
- 測定機器の中には、レーザー光源などを使用したものがあります。使用方法を守って眼に直接光源が入らないようにご注意ください。
- 人体および人体組織を測定対象とする一部のモニター試験においては、体表にクリームや軟膏を塗布する必要があるものがあります。皮膚のかぶれや炎症などが生じた場合、弊所では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。特に、感染症や、皮膚疾患などお持ち込みのご利用はお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください（次葉へ続く）

